

社会福祉法人 敬友会 (2022年認定)

計画期間中の取組の概要

計画期間：令和2年4月1日～令和4年3月31日

業種：社会福祉・介護事業

労働者数：564人（男性133人、女性431人）

計画期間の育児休業等の取得状況

育児休業取得率 女性 93%

育児休業取得率 男性 20%



主な取組内容

- 育児休業の取得状況を男性は1人以上、かつ、配偶者の出産に伴う特別休暇の取得率を60%以上とすることを目指し、育児休業制度の認知度や充実度を調査したうえで管理職研修会により制度の周知に関する勉強会を実施、職員へ個別周知を図る。その結果、取得率80%を達成。
- 令和元年度の1人当たりの所定労働時間平均から比較して10%削減するため、全職員を対象に25時間以上の時間外労働者を推移表にまとめ、時間外業務が継続している場合には協議、対策を実施。

くるみん取得のきっかけ

職員の離職防止、定着率向上を目的にして様々な職場環境の改善に取り組んでおりました。その中で認定マークという形で第三者が客観的に評価する認定を取得することで、より内外へアピールすることが出来ると思い目指しました。

認定マークをどのように活用したいか

新規採用活動の際のPRと既存職員へ働きやすさの促進に活用したいです。

これから認定を目指す企業へのエール

認定を取得すること自体を目的とするのではなく、職員さんと働きやすさの改善などをテーマで話合うプロセスが重要です。話し合いの結果を制度、ルール化してその結果として認定を取得という流れが良いかと思えます。



認定通知書交付式 令和4年6月29日（水）
雇用環境・均等室長（左）と副理事長 橋本健二様（右）